



学校運営協議会とは…



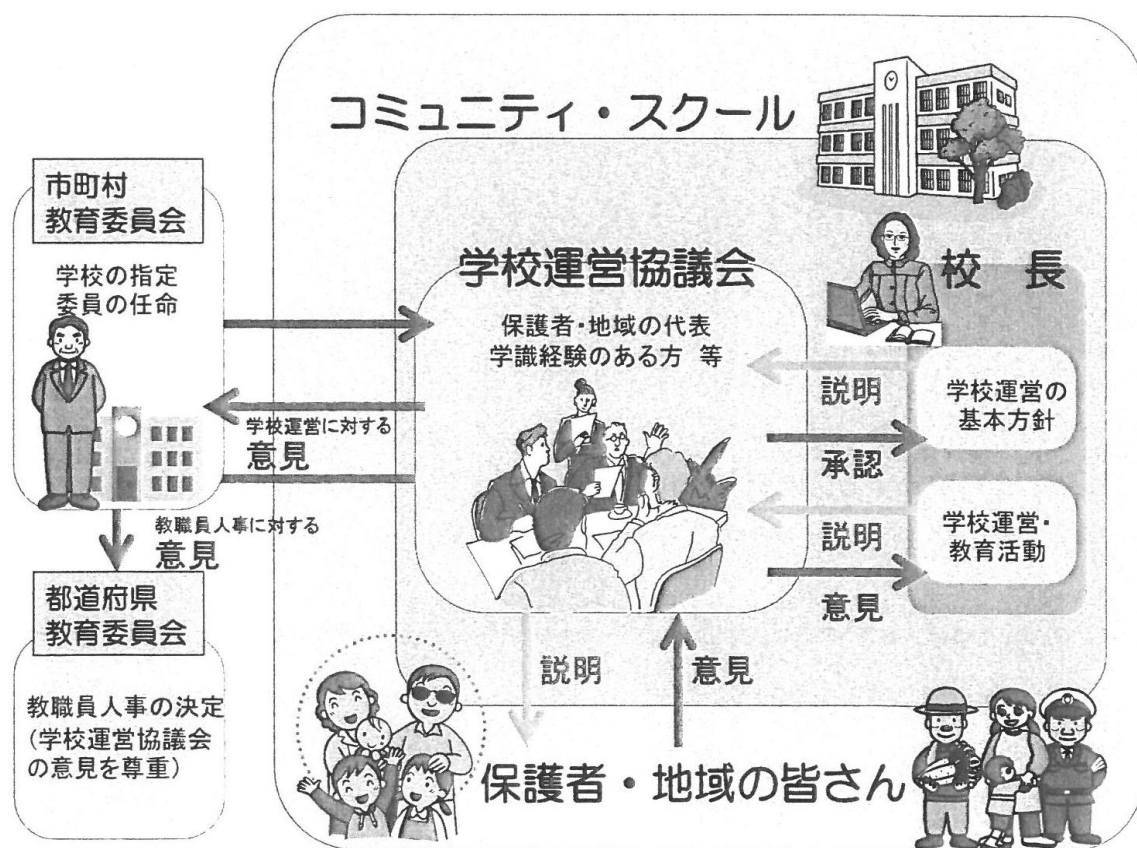
糸島市の小中学校では、学校運営協議会が設置されています。
この学校運営協議会が設置された学校の通称として、「コミュニティ・スクール」という言葉が用いられています。

学校教育に対する多様な要請に応え、信頼される開かれた学校づくりを進めるためには、保護者や地域住民のニーズが学校運営に反映されることが大切です。

学校運営協議会は保護者や住民、有識者などから構成され、学校の運営に意見を述べたり、基本的な方針を承認したりすることができます。この制度は、公立学校の運営に保護者や地域住民の意見を反映させる仕組みとなっています。

また、保護者や地域の皆さんにとってコミュニティ・スクールは、学校運営への参画や協力を通して、生き甲斐を感じたり、まちづくりに貢献したりする体験の場であり、生涯学習の場ともなります。

学校・家庭・地域の三者が双方向の関係を築く中で「地域の子どもを地域で育てる」ことを具体化することがコミュニティ・スクールの目指すところです。





令和7年度

第2回 長糸小学校 学校運営協議会（熟議）

開催日 令和7年7月25日

今年度2回目となった学校運営協議会。学校運営協議会の皆様、長糸小PTA理事の皆様、教職員が一堂に集まり、3つに分かれて、それぞれのテーマについて熟議を行いました。その後報告会を行いました。



セクションA

テーマ「これからの子どもたちに必要な学力 （自ら学習する力）」

遠くない未来、長糸小の子どもたちは、広い世界へ、より大きな集団へ足を踏み入れます。そこで新たな困難が、待ち受けていたとしても、それを「乗り越える力」が必要だという話になりました。そのために、本気で取り組めるリアルな学習を取り入れ、できたことを地域・保護者・学校で同じ目線で見守り誉め、自己肯定感を高めること。これが乗り越える力につながります。



キーワード 乗り越える力
本気 共有



キーワード あいさつ

セクションB

テーマ「これからの子ども達に必要な コミュニケーション力」

コミュニケーションのはじまりも、心地よい関係を持続させるのも、まずはあいさつです！ あいさついっぱい为学校、地域にするために、学校では、異学年交流を、家庭では安心感を土台にチャレンジできる環境づくりを、地域では、子どもたちの手本となるような地域の大人同士のコミュニケーションを大事にしていこうという話になりました。挨拶いっぱいの長糸になればいいと思います。

セクションC

テーマ「これからの子ども達に必要な 地域と学校との連携」

よさとして「合同運動会」「文化祭」「田植え」などの各行事と、「登下校の見守り」「安全マップ」などの安全に関わることが出ました。また「長糸には素晴らしい文化や自然がたくさんある。長糸を誇りに思える子どもを育てたい。」という声もありました。「いつでも伝えに来ます！」という地域の方の力強い声もありました。今年度は、合同盆踊り練習を行いました。夏祭りでは皆で踊ります。



キーワード 子どもの安全
長糸を誇りに思う子

【「熟議」を終えて】

今回は、セクションごとにひとつのテーブルを囲んで熟議を行いました。距離が近かったからか、和気あいあいとした雰囲気の中、たくさんの意見が出されました。仲西委員長からのまとめとして、「今日話し合ったこと、こんな長糸にしていきたいという願いを、ここで終わらせるのではなく、身近にいる、できるだけたくさんの人たちに広げてほしい」とお話しされました。皆様、大変有意義な時間となりました。ありがとうございました。



仲西委員長の
まとめ